

autocult

Tatra T82 Bus (チェコ共和国, 1937)

バス

scale 1/43

#10011

available

12/2022

limited edition 333 Stck.



国有鉄道の依頼で

T82 トラックの設計では、特に軍の意向が考慮に入れられた。T82は定評のあるチューブ構造のシャシーに、タトラ特有の振り子式アクスルとリーフサスペンションを装備していた。このフレームに搭載されたボクサー型の2.5リッター4サイクルエンジンは、2つのファンによって強制空冷され、55馬力を発生した。この馬力は前進8段と後進1段のギアによって、ダブルドライブのリアアクスルに変換された。重量は3トン強で、積載量は2トンになるように設計されていた。T82は、軍が主要な顧客としてチームバスを主目的に発注した。しかし、ターポリンを装備しただけのオープントラックだけが選択肢ではなかった。T82には、民間向けの救急車やバスもあった。バスはČSD 「チェコスロバキア・スタートニ・ドラーヒ」 (Československé státní dráhy) の略称で「チェコスロバキア国有鉄道」が発注していたものである。

1939年、タトラT72とT82をベースにした14台の新型バスの入札が行われた。1939年、ČSDは11台の同じバスを車体メーカーの専門家であるソドムカ社に、残りの3台をペーター社に発注した。

ペーター社のデザインは、座席が前向きに並んでおり、ソドムカ社では当時の都市間バスで一般的だった座席が横向きに設置されているものであった。座席の配置は鉄道会社の指定であり、おそらくペーター社のモデルは都市部での定期運行を想定していたと言われている。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de